

第 6 回(2024 年度)ふしの干潟いきもの募金の収支見込及び支援対象活動の案について

1 収入見込

区分	金額 (円)
前期繰越	655,352
募金活動、募金箱、寄附 [※]	150,000
その他収入 (受取利息) [※]	5
合計	805,357

※ 「募金活動、募金箱、寄附」及び「受取利息」の項目は、前年の金額を参考に計上。

2 支出見込

区分	金額 (円)	備考 (実施者・連携者)
榎野川河口干潟再生活動	200,000	榎野川流域連携促進協議会、干潟・水産資源再生 WG、 <u>持続可能な里海づくり WG</u>
アサリ再生活動に係る被覆網のメンテナンス・交換	100,000	事務局 (被覆網購入)
カブトガニ幼生生息調査・観察会	70,000	カブトガニ WG、 <u>環境学習 WG</u>
アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催	50,000	<u>ブルーカーボン WG</u>
事務費 (振込手数料、感謝状等)	10,000	事務局
次期繰越	375,357	
合計	805,357	

※ 第 32 回協議会及び第 4 回募金委員会において、今後も同様の募金額が継続する場合、自然再生協議会の活動として継続されてきた以下の活動への助成に注力することとし、各委員の調査・研究への個別の助成は当面休止することとした。

- ・榎野川河口干潟再生活動
- ・アサリ再生活動に係る被覆網の購入
- ・カブトガニ幼生生息調査・観察会

3 2024 年度の方針 (案)

2023 年度に企業からの寄附を受けたことから、第 32 回協議会及び第 4 回募金委員会において助成することとした 3 つの活動に加え、榎野川河口域・干潟自然再生協議会の各ワーキンググループが活用できるよう、助成を行うこととする。

なお、持続可能な里海づくりワーキンググループは、榎野川河口干潟再生活動の機会に、環境学習ワーキンググループは、カブトガニ幼生生息調査・観察会の機会に取組を行う計画であることから、助成事業の区分は分けず、ブルーカーボンワーキンググループの計画する「アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催」を新たな区分として追加する。

4 今後の方針（案）

- ・ 寄附付き商品の展開及びふしの干潟募金サポーターのフォローや新規掘り起こし、募金活動の強化等、ふしの干潟いきもの募金への収入確保を進め、自主財源での活動実施に努める。
- ・ なお、ふしの干潟いきもの募金が枯渇する可能性がある場合、企業助成金等の活用を検討する。

第 6 回 (2024 年度) 支援対象活動及び実施者等の計画書

1 榎野川河口干潟再生活動 2024

(1) 活動計画

団体名	榎野川流域連携促進協議会、干潟・水産資源再生ワーキンググループ、持続可能な里海づくりワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全、 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 募金の運営・広報
活動目的	地域住民・企業・大学等のボランティアの協力を受け、アサリ再生活動等を実施し、干潟環境の改善を図るとともに、地域住民等の親水性の向上等に寄与する。 また、干潟や活動等の普及啓発を行うとともにふしの干潟いきもの募金に対する住民等からの寄附の促進を図る。
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
活動内容 ・計画	2008 年度から南潟において住民参加型の干潟再生活動（干潟耕耘等）を実施している。活動は、例年春にイベント形式で開催し、地域住民、企業、大学等の多くのボランティアの協力を受けている。2024 年度は以下のとおり実施する。 <イベントの概要> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施日：2024 年 4 月 27 日（土） ● 場 所：榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 主 催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 協 力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、(株)伊藤園山口支店、水産大学校、山口大学等 ● 参加者：150 人程度（募集） ● 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・榎野川の恵みを味わう試食会（山菜の天ぷら） ・寄附付き商品の販売、募金活動 ・アサリ再生活動（被覆網のメンテナンス、アサリ稚貝の育成、干潟耕耘） ・生き物観察会

(2) 活動予算

申請金額	200,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (200,000 円)	
支出予算	応募案内中の表 1：①～⑦の項目ごとに記入してください。	
	区分	予算額(円)
	印刷費	4,000
	保険料	5,000
	備品・消耗品費	30,000
	備品・消耗品費	20,000
	備品・消耗品費	100,000
	備品・消耗品費	31,000
	備品・消耗品費	10,000
合計	200,000	

2 被覆網のメンテナンス・交換

(1) 活動計画



団体名	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> その他、干潟等の保全・再生に関すること。
活動名	被覆網のメンテナンス・交換
活動目的	<p>榎野川河口干潟（南潟）において、実証試験や干潟再生活動を通じて、現在、約250枚の被覆網を設置している。</p> <p>近年、被覆網の設置枚数が増加し、定期的に被覆網をメンテナンス（洗浄）して再利用しているが、老朽化が著しく、破損したものが増加しており、被覆網を用いた調査やアサリの再生活動に支障が生じつつある。</p> <p>特に、アサリの再生は、ふしの干潟いきもの募金の寄付者が活動成果を実感できる仕組みづくりとして重要な位置づけであり、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブ等のボランティアに御協力いただき、被覆網を交換する。</p> <p>また、老朽化した被覆網が溜まっており、回収する。</p>
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）
活動内容 ・計画	<p><被覆網のメンテナンス・交換活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟に設置された2,000㎡以上の被覆網について、設置場所の調査状況及び破損状況等を確認し、被覆網の交換場所をWG委員間で協議し、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブや一般ボランティアの協力を得ながら、被覆網を交換する。 破損せず、藻が付着しているのみの被覆網は、メンテナンス（洗浄）し、再利用する。 老朽化や破損して使用できなくなった被覆網を回収する。

(2) 活動予算

申請金額	100,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い（100,000円）									
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額(円)</th> <th>内訳(積算根拠)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備品・消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>被覆網（3m×3m） 20枚</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)	備品・消耗品費	100,000	被覆網（3m×3m） 20枚	合計	100,000	
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)							
	備品・消耗品費	100,000	被覆網（3m×3m） 20枚							
合計	100,000									

3 カブトガニ幼生生息調査・観察会

(1) 活動計画

団体名	カブトガニワーキンググループ、環境学習ワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	カブトガニ幼生生息調査・観察会
活動目的	山口湾は、絶滅危惧Ⅰ類「カブトガニ」の産卵場・生息場として全国的にも重要な地域である。干潟におけるカブトガニ幼生の生息状況等を調査することで、生息や産卵に適した環境の再生・保全に寄与する。
活動場所	山口湾干潟（長浜・南潟）
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>長浜及び南潟において、夏季の干潮時に年1回ずつ、県内外のボランティアや山口大学等の協力を受け、カブトガニ幼生の生息状況を調査する（平成20年度（2008年度）から継続）。</p> <p>また、子ども等を対象にしたカブトガニ観察会を開催し、山口湾の自然や生き物に対する関心を高めるための啓発を行う。</p> <p><調査方法></p> <p>調査は、ベルトランセクト法により実施する。区域内に1kmの調査ラインを複数（長浜区：20ライン、南潟区：5ライン）設定し、調査者は、ライン上を歩きながら、発見したカブトガニの①個体数、②前体幅（齢数を推定するため）、③発見地点（GPSを使用）を記録する。長浜の調査は8月下旬に50人程度で、南潟の調査は9月上旬に20人程度で実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(2) 活動予算

申請金額	70,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い（70,000円）		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	保険料	2,400	参加者の傷害保険代（20円×120人）
	備品・消耗品費	14,000	飲料（100円×140本）
	備品・消耗品費	30,000	塩分タブレット等購入費（250円×120人）
	備品・消耗品費	3,600	調査用の事務用品、電池、冷却材等
	備品・消耗品費	20,000	生き物観察会用資材購入費
合計	70,000		

4 アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催

(1) 活動計画

団体名	ブルーカーボンワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> その他、干潟等の保全・再生に関すること。
活動名	アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催
活動目的	山口湾に存在するアマモ場についてその拡大を図るための調査および一般市民に見学会を実施する。
活動場所	山口市秋穂岩屋海岸（山口湾）など
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>2024年4月 第1回WG アマモ見学会計画立案</p> <p>2024年5月～6月 アマモ花枝採取・花枝を海底に設置、マルチスペクトルUAV、音響測深でアマモ場の面積を測定</p> <p>2024年7月 一般市民を対象としたアマモ見学会を開催</p> <p>2024年7月 瀬戸内海研究フォーラムで発表</p> <p>2025年3月 水環境学会で発表</p>

(2) 活動予算

申請金額	50,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (50,000円)		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	備品・消耗品費	5,000	ゴムボート用ガソリン代
	旅費・宿泊費・謝金	5,000	講師旅費
	保険料	5,000	参加者の傷害保険代
	借損料	5,000	見学会用安全器具レンタル料
	備品・消耗品費	10,000	アマモ花枝設置機材
	備品・消耗品費	20,000	ドローン用SDカード、電池
	合計	50,000	

第1回山口湾アマモ観察会



2024年7月7日(日) 14:00~17:00

【主催】榎野川河口域・干潟自然再生協議会 ブルーカーボンWG

【協力】NPO法人野鳥やまぐち・ふしの干潟いきもの募金・中電技術コンサルタント（カーボン・オフセット）

ポイント

- ・ 地引網を使って豊かなアマモ場の生物を観察します
- ・ 実際に自然のアマモに触れることができます
- ・ ドローンで空中からアマモ場を一望することができます



カーボン・オフセット イベント

当観察会は、参加者が現地まで乗用車等で移動する際のCO₂排出量を、大島干潟(周南市)のCO₂吸収量(ブルー・クレジット)で相殺(オフセット)した、環境に優しいイベントです。

- 内 容 ○アマモ場体験
(解説：山口大学 岩谷潔講師)
○地引網によるアマモ場生物採取・観察
(解説：水産大学校 南條楠土講師)
○ドローンによるアマモ場空中観察
- 集合場所 山口市美濃ヶ浜海浜広場(右図)
14:00集合、徒歩で見学場所に移動
17:00現地解散予定
- 募集定員 20名程度(先着順)
- 対 象 小学生以上どなたでも
(小・中学生は保護者同伴)
- 参加費 無料
- 持 参 物 救命胴衣が必要です
レンタルを希望する場合は実費(1000円)を申し受けます
- 申し込み 6月24日(月)までに申込書を
下記にメールでご提出ください。
榎野川河口域・干潟自然再生協議会事務局
(山口県環境生活部自然保護課)
〒753-8501 山口市滝町1-1
Mail : a15600@pref.yamaguchi.lg.jp
- 雨天の場合 小雨では決行しますが強雨が強い場合中止します



活動は
Facebookで



第1回アマモ観察会参加申込書

榎野川河口域・干潟自然再生協議会 事務局 宛て

FAX：083-933-3069

Mail：a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

申込締切：6月24日(月)

申込日：2024年 月 日

<代表者> 所属： _____ (団体で申込の場合、所属を記入してください。)

ふりがな		生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
氏名	(男・女)		
住所	〒 -	電話番号	※ 当日つながる携帯電話等を御記入ください。
救命胴衣レンタル	大人 個, 子供 個	メールアドレス	

<その他の参加者>

ふりがな		生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
氏名	(男・女)		
ふりがな		生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
氏名	(男・女)		
ふりがな		生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
氏名	(男・女)		

必ずお読みください

※生年月日等は、保険に加入するため必要な情報です。
※個人情報、本イベントの目的にのみ使用します。

参加者の皆様へのお願い

榎野川河口干潟の“里海づくり”の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。
活動に当たって、以下を必ずお読みいただき、同意の上、ご協力をお願いいたします。

- イベント中の事件・事故・怪我等については、主催者が締結する保険の支払範囲内で対応します。
- 水分・塩分補給を適宜行い、熱中症対策をしっかりとお願いします。
- 海岸にはトイレがありません。集合場所の公園で事前に済ませていただきますようお願いいたします。
- 海岸は、足下が滑りやすいので注意してください。
干潟は、場所により身動きができなくなるほど足が埋まる場所もあります。スタッフが指示した場所以外は絶対に歩かないでください。
- 海浜公園の駐車場は、台数が限られています。できるだけ周りの方と乗り合いでお願いします。
- 絶滅危惧種の「カブトガニ」も生息しています。小さな幼生は、2～3cmの大きさです。
足元を気にしながら歩き、観察する際は、なるべく触らず、移動させないでください。
- イベントで撮影した写真は、広報資料として、関連ホームページ、ニュースターなどに使用します。
- アサリなどの魚介類には漁業権が設定されています。県漁協の許可なく、持ち帰ることはできません。